

Au アプリケーション の開発



概要

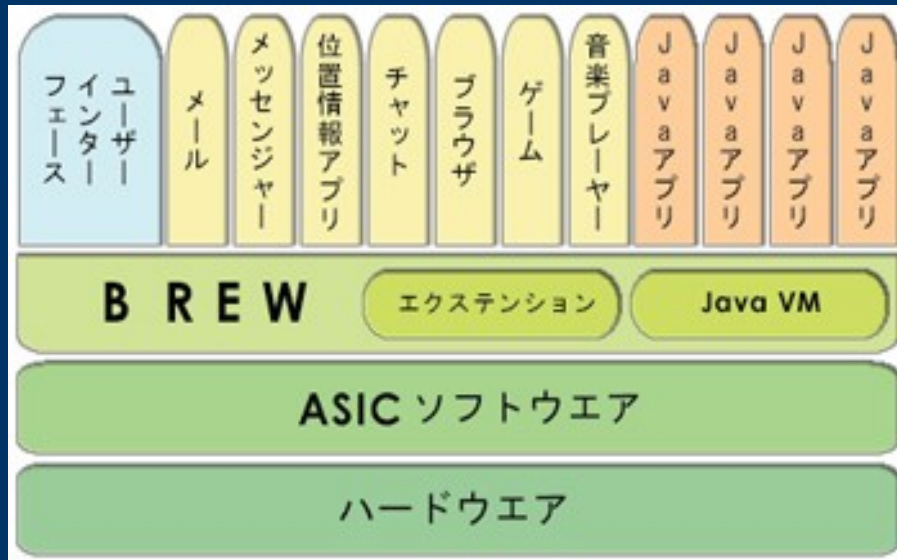
- KDDI 携帯電話、BREWについて
 - BREWでのアプリケーション開発
 - Java open appli の開発
-
-

KDD I 携帯電話



- クアルコム社のチップを搭載している。
- アプリケーションプラットフォームは、BREW
- 4月よりBREW上でJAVAを動作させるオープンアプリプレーヤーを搭載し始める。

BREWについて

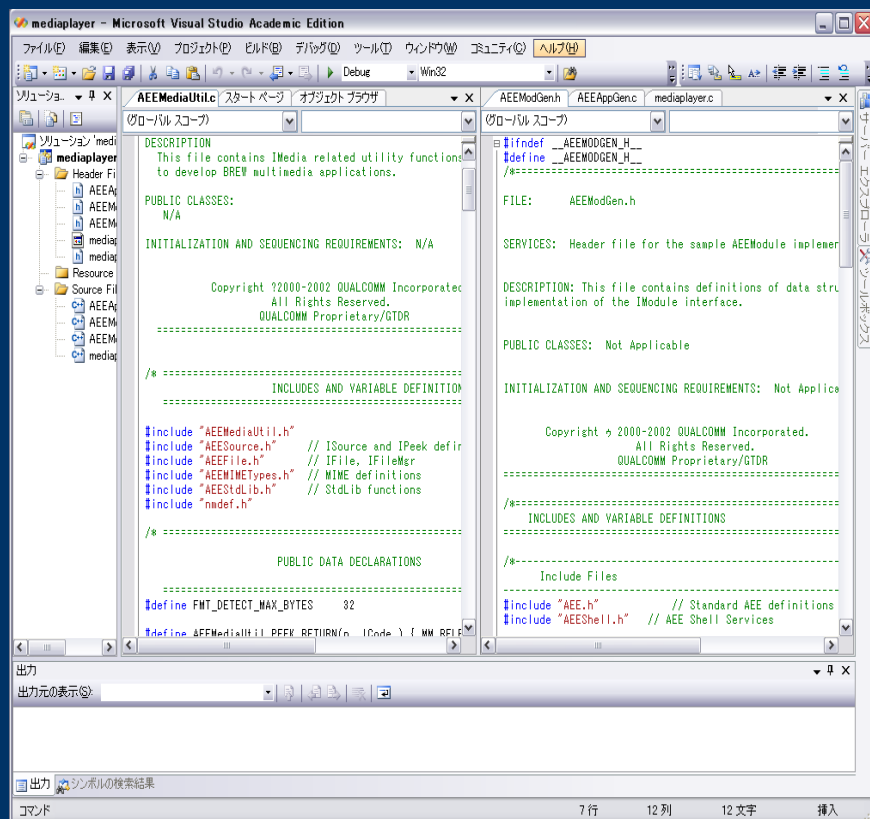


- BREWは、QUALCOMMが開発したCDMA携帯電話向けのアプリケーションプラットフォーム
- ノンプリエンティブな疑似マルチタスク
- C・C++で書かれたソースをコンパイルしバイナリを生成して実行する。
- メモリの管理を自分でしなければならない。
- 一般ユーザーが作ったアプリは、配布および実機での実行はできない。

続 BREW について

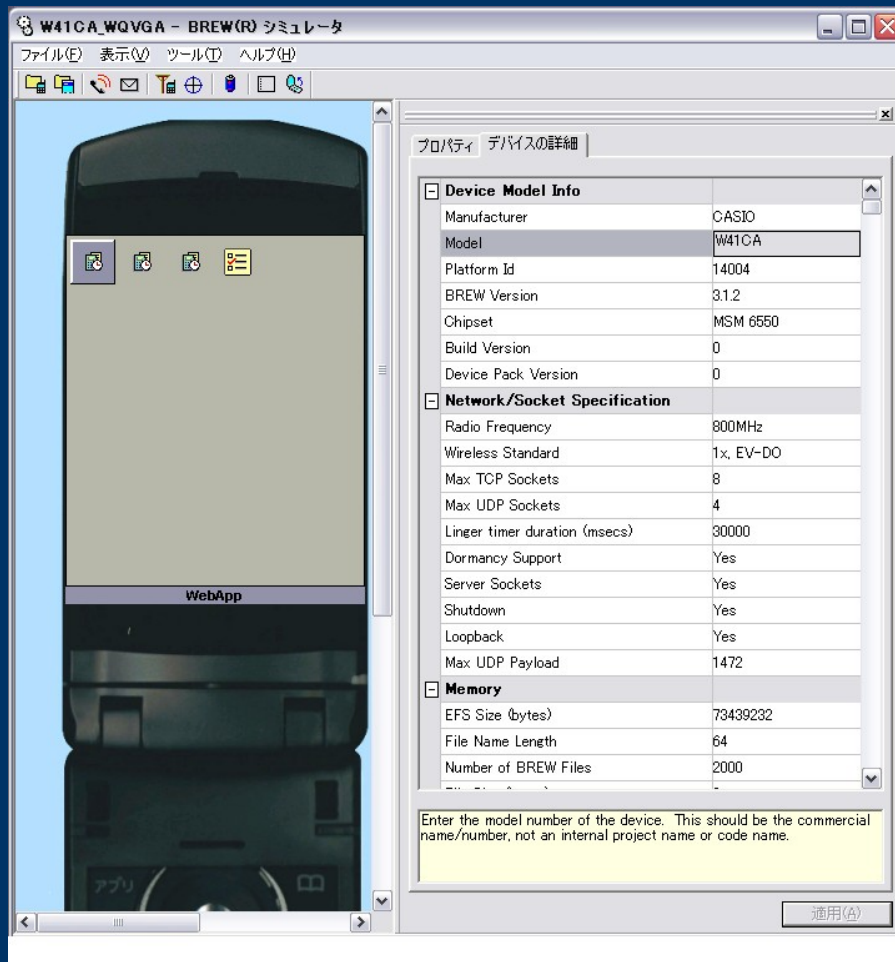
- BREW搭載端末であれば、どの端末でも実行可能。
- メモリ管理を自分でするので、少ないメモリでも大きなアプリを実行することができる。
- 詳しくは i-health のリンクを参照 環境設定等も書いてあります。下に同じリンクを貼っておきます。
- ソフィアクレイドル
<http://www.s-cradle.com/developer/index.html>

BREW開発環境の構築



- Visual Studio での開発
- BREW SDK、BREW SDK ツール を入手しインストールする
- Visual Studio addin のインストール
- '続BREWについて' にリンクがあります。

BREWアプリケーションの開発

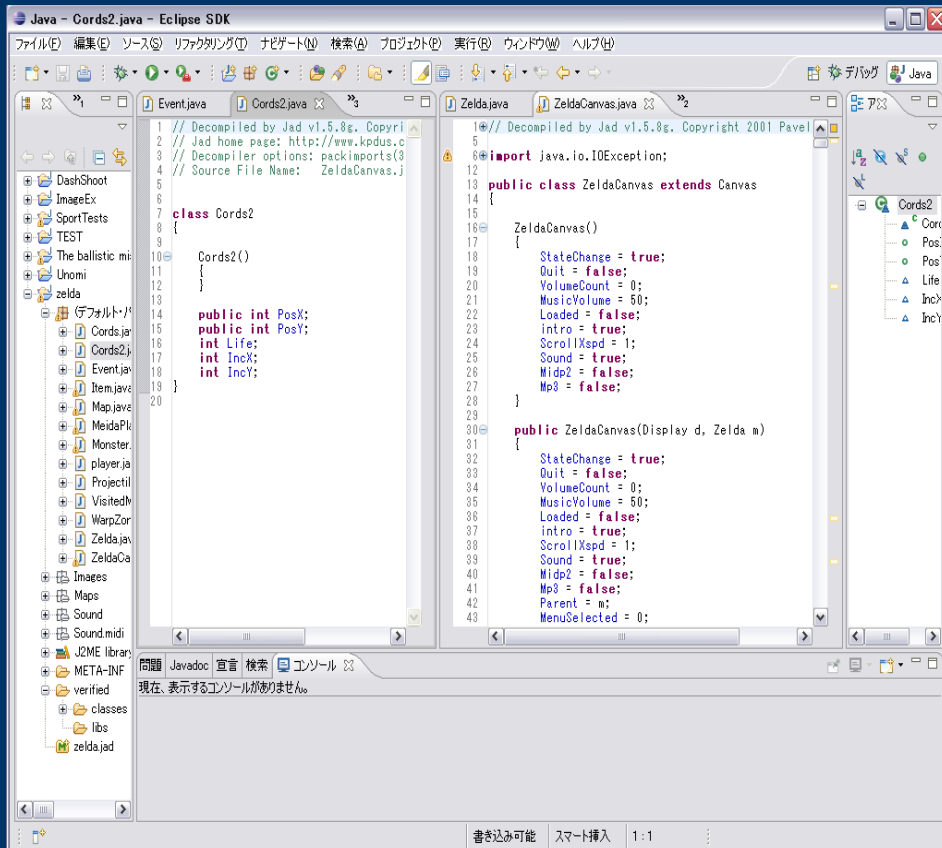


- SDK ないの MIF エディタを使って、MIF ファイルを製作
- Visual Studio のメニューから新規で製作します。
- プロジェクトにソースファイルとアプリケーション特有ファイルを含めます。
- ビルドして DLL ファイルを製作します。
- BREW SDK 内のシミュレータでそれをエミュレートします。

Java オープンアプリ

- Java オープンアプリの製作
- Eclipse と Wireless toolkit (以下 WTK) を使用しての製作
- 個人で製作し配信が可能。
- オープンアプリのほうが初期投資が少なくてすむ。
- 仕様については、
<http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/openappli.html>
- 環境整備については、
<http://appget.com/contest/au2007/lecture/index.html>
- Eclipse での環境設定なら
MIDP 2.0 携帯 Java アプリ開発ハンドブック
を参照 (ゼミ室にあります)

オープンアプリ開発



- Eclipse, WTK と J2ME CLDC ダウンロードしインストールします。
- プロジェクトより新しく J2ME のプロジェクトを作っていきます。

目標

- VisualStudio を使用して B R E W アプリケーションの開発。
 - Eclipse を用いて、オープンアプリの開発
 - サンプルをある程度つくって開発手順を覚える。
 - あるソースを自分の思うとおりに改良してみる。
-
-